



年 組 名前

# 道新で ワークシート

国際色豊かな作品が並んだ絵画展。日本語のメッセージが書かれた作品もあった



モエレ沼公園で作品展

## 海外と札幌の子どもも 絵画で交流

世界10カ国と札幌市内の子どもの絵を紹介する「絵を描く天使たち 少年少女国際交流展」が25、26の両日、札幌市東区のモエレ沼公園ガラスのピラミッド内で開かれた。芦別市出身の矢野真一さん(59)が代表理事を務める一般社団法人子ども芸術ネットワーク(東京)が主催。海外の教育プロジェクトの協力を受け、昨年からは札幌と東京で開いている。

作品は各国の文化や自然を描いた約千点で、2〜18歳が描いた。世界遺産タージマハルを描いたインドの絵や、メキシコの伝統行事「死者の日」に出てくる骸骨を紹介する作品など、独自色豊かな力作が並び、作品ごとに手紙を入れる場所も用意。来場者は気に入りの作品にファンレターを差し込んでいた。

気に入った絵を撮影していた札幌市立東橋小5年の A 君(11)は「こんな描き方があるのかと勉強になった」と感心していた。

(工藤俊悟)

2023年3月28日(火) 夕刊 小樽・後志版 2ページ (記事は再編集しています)

- ① 作品展には、どのような作品が展示されていますか。
- ② 海外と札幌の子どもが絵画で交流することで、どんな効果があると思いますか。
- ③ このような絵画展に作品を出品するとしたら、あなたは、北海道のどのような文化や自然を絵に表しますか。